会 議 録

第2回 藤井寺市健康増進計画・食育推進計画策定委員会
令和5年11月2日(木)14時~16時
藤井寺市立保健センター3階 第1研修室
藤本会長、福田副会長、黒川委員、嘉指委員、伊東委員、佐々木委員、
東口委員(事務局)
(1)基礎調査の結果について
(2) 今後の課題と方向性について
(3) その他
資 料1 「健康づくりと食育についてのアンケート結果」
資 料2 「第2次計画における目標値の達成状況」
資 料3 「今後の課題と方向性」
委員9名中7名出席につき委員会規則第6条第2項の規程により成立
0名
要点筆記
出席した委員の確認を得ている
公開

審議の内容

- ○開会あいさつ
- ○9名中7名出席につき会は成立(傍聴0名)
- ○配布資料の確認
- ○委員ならびに事務局紹介

【会長】

- ・飽食の時代といわれるがなかなかその本来の人間の大きな欲のひとつである食にもありつけない人もいる反面、これからの将来の食が世界的にも厳しい時代になりそうな感じがしてきている。
- ・今日は藤井寺市のなかで市民に向けた健康増進を兼ねた食育の推進、食べて育てるというというというとでよろしくご検討いただきたい。
- ・では議事に入っていきたい、事務局より説明を。
- ○事務局より基礎調査の結果について資料説明

【委員】

- ・実感に近い傾向が出ていると感じた。自分の周囲でもウォーキングをしている人が増えているし、子どもは減っているようだが歯科検診を定期的に受けている大人も多く、デンタルフロスのお勧めされているようだ。
- ・メンタルヘルスについても、自身も体調を崩して精神科にかかったことがあるが、コロナ禍 だったこともあり凄く患者が増えて予約がなかなかとれないようだった。パーセンテージと しては少ないようだが深刻な人は増えているのではないかと思う。
- ・睡眠時間も十分とれているとはなかなかいえないと思う。20歳以上のひとくくりだが、年齢でもこの結果は変わってくるのではないかと思う。周囲でも5時間寝れたらいい方で、あとは昼寝で補っているというような話も聞く。

【会長】

- ・確かに全体で見ると良い悪いは別して、健康も食もみんな気を使って改善する方向へ意識してる結果ではないかと感じる。
- ・朝食を食べていますかという質問は、8割ほどとなっているがこれは他の地域と比べ平均的 な数値なのか。

【事務局】

・全体で言うと高めだ。おそらくその理由は回答者が70歳以上の占める割合が多いからだろう。 朝食を欠食する人は20~30歳代が多いと思われるがその年代が回答しておらず、高齢者の回答が多い。

【会長】

- ・了解した。
- ・メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、検診、歯科健診あたりの結果についてはみなさんの意識が高い。健診などはコロナのせいで減るかと思ったがそれなりに維持

できている。

・一方、意識して心掛けている割にはメタボリックシンドロームやロコモティブシンドローム という言葉自体の認知度は低い。こうした言葉も意識を押し上げるベースになると思う。

【副会長】

- ・間食についてどのような食べ方をしているのか分からない。BM | は増えているが、食事の 状況は野菜を食べたり3食きっちり食べたりと良い感じになっている。それなのにBM | が 増えているのは、沢山食べているからではないか、間食がふえているのではないか。そこで 不必要なカロリーを摂っているのではないかと感じる。
- ・歯科健診が増えているのは、おそらく後期高齢者歯科健診を毎年やるようになったので、それで増加しているのではないか。意識的に来ている人も増えたと思うが、75歳以上には健診 案内を毎年送るようにしているので急激に増加したと思う。
- ・高齢者を診ていると、歯頚部や歯間、歯根のむし歯が多い。どれも聞いていると、ちょこちょこといつも何か食べていたり、飴や甘いものを食べているようだ。子どものむし歯は減っているが高齢者では増えている実態があるので、間食が気になる点だ。

【委員】

・今の話を聞いて、コロナの影響がやはりあるのではないか。体重が増えた、閉じこもりがちになった、間食が増えたという回答が多い。外出する機会が減ったことで意識せず何かを口に入れることが増えたのではないか。

【副会長】

・実際に高齢者のむし歯がコロナで増えた。コロナ明けにむし歯対応に非常に追われたほどだ。

【委員】

·70歳以上の回答者が多いとのことだが、やせが多い。また、フレイルやロコモの認知度が低いのが気になる点だ。

○事務局より引き続き資料説明

【会長】

【副会長】

- ・むし歯の数についてわからないという回答が多いことへの疑問があったが、これはむし歯という疾患の概念がもう子どもたちにはない。起こらない、かからないためわからない。
- ・わからないにはおそらく2つあり、ネグレクトのような環境も一定あるかもしれないが、アンケートを回答し回収されるのはおそらく優秀な家庭環境の子どもたちなので、むし歯にかかったこともなければ周りにもいない、だからわからない、そういった集団だと思われるので不思議ではない回答だ。
- ・歯間清掃が増えている件についても、われわれも健診時には必ず勧めるし、そういった商品 も買いやすくなっている結果だろう。
- ・ただ、これは凄く意識の高い保護者と子どもがこうした結果を出しているといえ、本当の全体を示しているかは難しい点だ。ただ、全体のむし歯は激減しているのも事実だ。これは歯

医者が頑張ったというより、歯磨き剤のフッ化物の添加がほぼ100%になっておりその結果減少した。

【委員】

・先生にうかがいたいが、小学5年生で、歯磨きを寝る前、晩御飯の後という数字が高いが、 これは晩御飯を食べた後に磨き、更に寝る前にも磨いているということか。そういう指導が あるのか、それとも自主的なものなのか。

【副会長】

・おそらく自主的だ。指導していなくてもそこまでする保護者もそこそこいる。

【委員】

- ・行事食の認知度が高いのは、おそらく藤井寺市の給食のおかげだろう。藤井寺市の給食センターが毎月発行するおたよりなどでは行事食や伝統食、食材の説明などがあり、中学生になると自分たちで作った献立を給食センターへ送って提案する子どももおり、行事食や伝統食についてはひょっとすると大人より子どもたちの方が知っているだろう。
- ・野菜を食べている子どもが多いが、ポテトチップスなどもじゃがいもだから入ると考えてしまうと、数字が高くなるのではないか。野菜というものが何に該当するのかという概念を子どもが理解しているかどうか気になる。
- ・スポーツについては、クラブ活動をしている子どもなどは高くなり両極端になるのではない か。帰宅組とは異なるのではないか。
- ・たばこやアルコールは、経常的にいつも吸ったり飲んでいる子どもは少なく、面白がって摂取する子でいつもではないのではないか。ただ、やはり優等生の回答だと思われる。ずっと吸っているような子どもはある程度見かける。

【会長】

- では議題2に進みたい。
- ○事務局より今後の課題と方向性について資料説明

【会長】

・各分野のとりまとめとして今後の課題と方向性をまとめていただいた。先のアンケート説明 で数字を見ていただいたが、それらをふまえまとめていただいた。

【委員】

- ・食生活と栄養だが、小学5年生の肥満傾向について、小学5年生への対応は非常に難しくて、 介入しても結果が出るのは5年後でその頃には中学生、高校生ということになる。そうなる と、ライフステージというよりライフコンサルアプローチが必要であり、ここで目標値設定 するのは馴染まないのではないか。
- ・やせの女性については、府内の市町村ではやせの女性が出生率にも影響するということで最 重点改題に挙げているところもある。今後の市の人口増減等も考えると、やはり、やせてい ると損しますよといった啓発が必要ではないか。直接出生率のことを言う訳にはいかない が、少なくとも啓発していくことは必要だと思うので、目標設定は必要ではないか。
- ・朝食については、何を朝食とするかという概念が今はもうバラバラだ。チョコレートを食べただけで朝食だという人もおり、欠食だけでなく内容の充実も入れていただきたい項目だ。

【副会長】

・菓子パンが朝食という例もある、あれはひどい。

【会長】

・あとは栄養補助食品だけという話もある。バランス的には足りるのかもしれないが、しっか り一汁三菜という世代からすると物足りなさを感じる。

【委員】

・朝食はカロリーを取るだけが目的ではない。生活リズムや家族との会話などもある。

【会長】

・20歳代の女性のやせとなると、なかなかこれは女性の美に対する面や他の人に対する面などがあり難しく介入しづらいところもある。

【副会長】

- ・あと、歯に対する意識が低くなったということはないと思う。ただ、痛くなければ健診を受けなかったり、必要な時はいつでも診てもらえると思っているのがあるだろう。子どもについての指摘は出て来ているが、大人や高齢者のことが出て来ていない。
- ・歯科として高齢者ももっと受けやすい環境を整えることが必要だと感じた。

【会長】

・ではその他案件がなければ本日は以上としたい。

~閉会~